

ふく チャレ

「もったいない」の精神で 人が、地域が、社会が輝く！



不要になった衣類などを回収し、整理と修繕を行います。多いときは1日に45ℓの袋が十数個運び込まれたことも。その人にとって不要でも、他の人には必要なものもあり、「ゴミの山は宝の山」と富永さん。

学 習塾での指導やカラーコー
ディネートの資格を生かした
講演で、子どもたちの育成や女性が
輝く社会の形成を考えてきた富永
さん。あるとき、自宅前のゴミス
テーションに大量の衣類が捨てら
れているのを見て「地域で再利用で
きる方法があるのでは？」と、友人
たちと「もったいない会津」を立ち
上げ、古着などを回収し、安価に融
通する取り組みをスタート。販売
のみならず、その人に合った服や帽
子をコーディネートし、着てもらう
とそれまで笑顔の少なかった方が
たちまち笑顔に！活動に弾みがつ
いて、今年2月には会津若松市主催
の「環境フェスタ 特別企画」で、古
着のファッションショーを行います
した。「その人に合った色や仕立て
の服を着ると、人生そのものを前向

もったいない会津
とみながようこ
富永 陽子さん
(会津若松市)



捨てられる衣服の中には値札が付いた新品同様のものやブランド品もあるのだとか。



作った帽子や衣服の裁縫の質を上げようと奮闘中。



ファッションショーの様子。古着には見えない衣装を身にまとい、ピシッとポーズを決めます。

きに捉えるように変わります」と富永さん。
これからの構想を聞くと「廃校などで、衣類の回収や修繕だけでなく、カフェの運営を行うなど、みんながイキイキと活躍できる場を作りたい」とのこと。人が輝くと地域が変わり、社会が変わっていく。やりたいことにあふれる富永さんは「もったいない」の精神で地域のエコ活動を推進していきます。